

# 平成 23～26 年度用／小学校図画工作科

## 年間指導計画作成資料

### ■ 標準型のカリキュラム＜学習の内容と評価の観点＞

1・2 年上..... 3

1・2 年下.....14

3・4 年上.....26

3・4 年下.....38

5・6 年上.....47

5・6 年下.....57

開隆堂出版株式会社

## [カリキュラム表の読み取り方]

◆学習指導要領との関連の下の ☐ は、主たる領域・分野を示す略号です。

遊.....造形遊びをする活動

絵.....絵に表す活動

絵〈版〉.....絵に（版画に）表す活動


立.....立体に表す活動


工.....工作に表す活動


鑑賞.....鑑賞する活動

◆各題材の「重点活動」は図画工作科を通して、子どもたちに身につけさせたい資質や能力を、この教科書独自にくくったものです。それぞれの題材や活動の意図あるいは学びの意味を示したものとと言えます。

本冊子のそれぞれのカリキュラム案の「重点活動」欄にあるマークの内容は以下のとおりです。

 : 心を開き、材料や自分自身、友達などとかかわり合うよさを知ること。

 : 試したり見つけたりしながら、自分らしい造形的な表現の追求と発見をすること。

 : 形や色、方法や材料について知り、造形的なものの見方や考え方を養うこと。

◆各題材の「評価の観点」にある項目は、各題材の観点別評価の観点を示しています。

関： 造形への関心・意欲・態度

発： 発想や構想の能力

創： 創造的な技能

鑑： 鑑賞の能力

[共] 共通事項（表現及び鑑賞の活動の中で、共通に働いている資質や能力）

◆「題材名」欄で※印のあるものは、選択的な取り扱いとして位置づけていることを示してあります。

◆活動時間の柔軟な取り扱い

それぞれの題材に配当する時間数は標準的なものを示していますが、計画と実践にずれが生じるのが実情であると思われます。そこで、いくつかの題材に「4～6時間」のように、活動時間の幅を持たせてあります。児童の興味や関心、活動のペースやリズムを大切に、ゆとりのある計画を立てる必要があります。各学校や児童の実態に合わせて、計画の段階で自由に選択したり、活動の過程で修正したりすることも可能です。

なお、この指導計画においては、1単位時間を45分として扱っています。